

平成28年度「高校生社会参加促進事業」の取組概要

番号	18	学校名	御所実業高等学校
----	----	-----	----------

1. 取組名

御所実ライトアップ 御所実業フェア in イオンモール橿原

2. 活動内容

本校は災害時に地域の方々の緊急避難所となっている。そのためいつ襲って来るか知れない災害に備えて夜間であっても無事に学校敷地内に到着することが大切である。そのために5年前から奈良県教育週間にあわせて校舎前に植えられているクスノキやケヤキの大木を幻想的にライトアップして地域の方々に開放し、学校への避難経路の確認をしていただいている。



これらの大木は旧御所工業高校の敷地から新校舎移転時に移植された本校のシンボリックな木である。地元の自治会にも協力を仰ぎ、毎年多くの方が来校される機会に、茶道部によるお点前や各専門科の生徒が作成した工作物も併せてライトアップして本校の教育活動を見ていただいている。また、ライト設置に関する技術指導を電気工学科生徒に対してしてもらい、生徒の専門技術向上にも役立っている。

年末の3連休の初日（平成28年12月23日）にイオンモール橿原のサンシャイン広場において御所実業フェア

を開催した。これは本校の各専門科生徒が制作した工作物を各科用に設置されたブースにおいて来店された親子連れに体験してもらおうイベントである。広場の外周を機械工作部が制作したミニ新幹線を走らせて体験乗車してもらい、内側で都市工学科によるラジコンパワーショベル操縦、電気工学科による御所実フレンドパーク、薬品科学科によるアルコール鉄砲体験、環境緑地科による生き物折り紙体験などを実施し、来店された地域の親子連れに喜んでいただいた。

3. 成果と課題

年配の同窓会役員の方々や地元の区長さんをはじめ地域住民の方々や在校生の保護者も見学に来られ、在校生との交流の中で学校の歴史や部活動活性化による地元の期待を生徒たちは耳にし、展示物の製作に関する話などで物作りにかかる思いを伝えることにより大人とのコミュニケーション能力の向上が見られる。また、御所実業フェアにおいても非常に多くの一般の方々との交流を通じてコミュニケーション能力が大幅に向上するとともに、生徒の心の中に物作りに対する自信と誇りや社会参加意識が芽生えたように感じる。課題としては少ない実習費の中から正規の教育課程ではない工作物の材料費捻出が挙げられる。